

- 問1 急峻な山々に挟まれ、木曽川が北東から南西へと流れる谷底のわずかな平地に、集落や鉄道、道路が密集している地域があります。江戸時代、この場所には「福島閑所」が置かれ、山岳地帯を通る主要な交通路の要所となっていました。この街道の名称として正しいものはどれですか。
(2018年 神奈川県公立入試 類似)
1. 甲州街道 2. 東海道 3. 中山道 4. 日光街道
- 問2 長野県において、スキー場や高原、温泉といった観光資源が豊富に存在し、多くの観光客を集めている理由を説明したものととして、地理的な背景を踏まえた最も適切な記述を選びなさい。
(2017年 岩手県公立入試 類似)
1. 日本海に面した長い海岸線を持っており、対馬海流の影響で一年を通じて温暖な気候が続き、沿岸部の開発が進んでいるため。 2. 都心からの距離が近いこと、山岳地帯をすべて切り開いてゴルフ場や遊園地などの人工的な娯楽施設を県内に集中させたため。 3. 県全域がなだらかな平野部で構成されており、冷涼な気候を利用した大規模なショッピングセンターの建設が容易であったため。 4. 中部地方に位置し、日本アルプスなどの標高の高い山々が連なる地形条件と、冬の豊富な積雪、そして火山活動による恩恵があるため。
- 問3 愛知県と岐阜県にまたがり、伊勢湾に面する位置にある平野についての説明として正しいものを選びなさい。この平野は中部地方に位置し、木曽川、長良川、揖斐川という三つの大きな河川の下流に広がっています。
(2022年 秋田県公立入試 類似)
1. 濃尾平野 2. 石狩平野 3. 讃岐平野 4. 越後平野
- 問4 愛知県を中心として三重県や岐阜県にまたがる地域に位置し、日本国内の工業地帯・地域の中で製造品出荷額が長年第1位となっている工業地帯について、その産業上の特徴として正しい説明を選びなさい。
(2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. IC（集積回路）などの電子部品や、時計などの精密機械工業の割合が全国で最も高い。 2. 大規模な製紙・パルプ工業が発達しており、安価な電力を利用したアルミニウムの製錬も盛んである。 3. 自動車工業が極めて盛んであり、瀬戸市や多治見市周辺での陶磁器製造といった伝統産業も受け継がれている。 4. 印刷業や出版業の割合が高く、京浜工業地帯に次いで中小工場が密集して機械部品を生産している。
- 問5 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に正しく並んでいる組み合わせを選びなさい。
(2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 木曽山脈、飛騨山脈、赤石山脈 2. 赤石山脈、木曽山脈、飛騨山脈 3. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈 4. 飛騨山脈、赤石山脈、木曽山脈
- 問6 中部地方の福井県に位置する若狭湾や、石川県の能登半島の一部では、山地の谷に海水が入り込むことで、小さな岬と湾が連続する複雑に入り組んだ海岸線が見られます。このような海岸地形の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。
(2022年 山口県公立入試 類似)
1. リアス海岸 2. 三角州 3. 海岸平野 4. 砂州
- 問7 日本の4つの道県の農業産出額の内訳を比較した統計において、ある県では「米」の占める割合が全体の半分以上に達し、野菜や畜産の割合が相対的に低いという特徴が見られます。この統計が示す都道府県として最も適切なものはどれですか。
(2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 新潟県 2. 千葉県 3. 鹿児島県 4. 北海道
- 問8 愛知県瀬戸市は、鎌倉時代から続く伝統的な工芸品の産地として知られています。この地域で生産される、良質な粘土を原料とした「瀬戸焼」などの工芸品を総称して何と呼びますか。
(2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 織物 2. 陶磁器 3. 漆器 4. 鉄器
- 問9 北陸地方など、冬にシベリア方面から吹き付ける冷たく湿った季節風の影響を強く受ける地域について述べた文章として、最も適切なものを選んでください。なお、この地域では12月や1月の降水量が非常に多く、気温が0度近くまで下がることが統計で示されています。
(2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 台風による被害を受けやすい時期と農作業が重なるため、風を防ぐための高い生垣を作る文化が発達した 2. 夏に発生する冷害を避けるために、冬の間の積雪を保存して冷房として利用する産業が発達した。 3. 冬は太平洋側からの季節風によって乾燥した晴天が続くため、大規模な灌漑施設の整備が発達した。 4. 冬は積雪が多く屋外での農作業が困難になるため、家の中で行う副業として手仕事が発達した。
- 問10 北陸地方のように、冬季に降水量が多く積雪が厳しい地域において、輪島塗や小千谷ちぢみといった伝統産業が発達した主な理由として適切なものはどれですか。
(2023年 岐阜県公立入試 類似)
1. 冬の間は積雪によって農作業ができないため、屋内で行える手作業を副業として進めたから。 2. 広大な森林から得られる豊富な木材を、冬の間にソリを使って容易に運び出せたから。 3. 乾燥した冬の空気が、漆の乾燥や布の染色を定着させるのに最も適していたから。 4. 雪解け水を利用した水力発電が早期に普及し、機械による大量生産が容易だったから。
- 問11 中京工業地帯に位置する愛知県において、製造品出荷額に占める「輸送用機械」の割合が非常に高い理由として、最も適切な説明はどれですか。
(2022年 宮崎県公立入試 類似)
1. 外国からの輸入原油を精製する大規模な石油化学コンビナートが沿岸部全体を占めているため。 2. 古くからの伝統工芸品である地場産業が、最新の精密機械工業へと全面的に転換したため。 3. 自動車本体の組み立て工場だけでなく、部品を製造する関連企業や工場が周辺地域に多数集積しているため。 4. 原料の大部分を県内で自給できるため、大規模な重化学工業を低コストで維持できるため。
- 問12 中部地方を構成する9つの県のうち、県名と県庁所在地の名称が異なっている県は3つあります。その県名と県庁所在地の組み合わせとして正しいものを、次の中から選びなさい。
(2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 長野県 ― 長野市 2. 新潟県 ― 新潟市 3. 石川県 ― 金沢市 4. 岐阜県 ― 岐阜市
- 問13 中部地方における農業の特徴に関する説明として最も適当なものを、次のうちから1つ選びなさい。
(2026年 熊本県公立入試 類似)
1. 長野県では水はけのよい台地を生かして茶の栽培が行われ、静岡県では夏の冷涼な気候を生かしてトマトの抑制栽培が行われている。 2. 長野県では夏でも涼しい高原の気候を生かしてレタスなどの抑制栽培が行われ、静岡県では台地などの地形を生かして茶の栽培が行われている。 3. 長野県では冬の温暖な気候を生かしてトマトなどの促成栽培が行われ、静岡県では平野の水田を生かしてレタスの栽培が行われている。 4. 長野県では平水域を生かしてのりや貝類の養殖が行われ、静岡県では冬の冷涼な気候を生かして茶の促成栽培が行われている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 中山道	木曽路を通る中山道は、江戸と京都を結ぶ五街道の一つであり、山岳地帯を抜けるルートとして整備されました。木曽福島は、険しい地形によって道が限定されるため、交通の検問を行う関所を設置するのに最適な場所でした。この地域では、現代のJR中央本線や国道19号も木曽川沿いの谷底平野に沿って通っており、古くからの交通の要衝としての性格が引き継がれています。
問2	答え 4 中部地方に位置し、日本アルプスなどの標高の高い山々が連なる地形条件と、冬の豊富な積雪、そして火山活動による恩恵があるため。	長野県の観光は、その険しい地形と気候条件に深く結びついています。標高の高い山々は夏場の避暑地（高原）や登山客を惹きつけ、冬の季節風がもたらす雪はスキー場などのスポーツ施設を支えています。また、山岳地帯に付随する火山活動は、県内各地に豊富な温泉地を生み出す要因となっており、これらが一体となって長野県の観光魅力を形成しています。
問3	答え 1 濃尾平野	木曽川・長良川・揖斐川の「木曽三川」が伊勢湾に注ぐ下流域に形成された平野は濃尾平野です。愛知県と岐阜県の広範囲にまたがっており、日本有数の人口密度を誇る名古屋市などの都市が位置しています。越後平野は新潟県、讃岐平野は香川県、石狩平野は北海道にあります。
問4	答え 3 自動車工業が極めて盛んであり、瀬戸市や多治見市周辺での陶磁器製造といった伝統産業も受け継がれている。	中京工業地帯は、豊田市を中心とした自動車工業の圧倒的な生産額により、日本の工業地帯の中で出荷額トップを維持しています。また、古くから「瀬戸物」の語源となった瀬戸市（愛知県）や多治見市（岐阜県）での陶磁器製造といった地場産業が発達していることも大きな特徴です。精密機械は主に内陸（中央高地）の産業であり、製紙・パルプは静岡県などの東海工業地域、印刷・出版は京浜工業地帯に多い特徴です。
問5	答え 3 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈	日本アルプスは北から順に、北アルプスと呼ばれる「飛騨山脈」、中央アルプスと呼ばれる「木曽山脈」、南アルプスと呼ばれる「赤石山脈」の3つから構成されています。これらは大規模な地殻変動によって形成された、日本で最も険しい山岳地帯です。
問6	答え 1 リアス海岸	起伏の激しい山地が沈水したり、海面が上昇したりすることで、かつての谷の部分に海水が入り込み、複雑な海岸線が形成されました。中部地方では若狭湾がその代表例として知られています。
問7	答え 1 新潟県	新潟県は日本を代表する「米どころ」であり、広大な越後平野を中心に大規模な稲作が行われています。全国的に野菜や畜産の産出額が伸びている中でも、新潟県は依然として農業産出額全体に占める米の割合が突出して高いという、水田単作地帯としての特色を持っています。
問8	答え 2 陶磁器	瀬戸市は日本を代表する陶磁器の産地であり、東日本では陶磁器のことを「せともの」と呼ぶほど一般的に普及しています。この地域は良質な陶土（粘土）が豊富に採れたため、古くから窯業が発展しました。
問9	答え 4 冬は積雪が多く屋外での農作業が困難になるため、家の中で行う副業として手仕事が発達した。	日本海側の地域では、冬にシベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が日本海を渡る際、対馬海流の影響で水蒸気を多く含みます。これが日本の骨格をなす山脈にぶつかると、世界的な豪雪地帯となります。冬の間は積雪によって農作業ができないため、農家の貴重な現金収入を得る手段として、家の中で行う織物や漆器づくりなどの副業が盛んになり、現代の伝統的工芸品や地場産業の基礎となりました。
問10	答え 1 冬の間は積雪によって農作業ができないため、屋内で行える手作業を副業として進めたから。	北陸地方などの豪雪地帯では、冬の間は田畑が雪に覆われて農業を行うことができません。そのため、農家の人々が冬の間は貴重な現金収入（副業）を得るために、家の中で行える手作業を発達させました。これが現代まで続く伝統的工芸品の基盤となっています。
問11	答え 3 自動車本体の組み立て工場だけでなく、部品を製造する関連企業や工場が周辺地域に多数集積しているため。	自動車は数万点に及ぶ多くの部品から作られるため、組み立て工場の周辺に多くの部品メーカーや関連工場が集積しています。この集積によって生産効率が高まり、愛知県では輸送用機械の製造品出荷額が飛躍的に高くなっています。
問12	答え 3 石川県 ― 金沢市	中部地方において県名と県庁所在地の名称が異なるのは、石川県（金沢市）、愛知県（名古屋市）、山梨県（甲府市）の3県のみです。これら以外の新潟県、富山県、福井県、岐阜県、静岡県、長野県の6県は、すべて県名と県庁所在地の名称が一致しています。試験では、名称が異なる県を正確に暗記しておくことが重要です。
問13	答え 2 長野県では夏でも涼しい高原の気候を生かしてレタスなどの抑制栽培が行われ、静岡県では台地などの地形を生かして茶の栽培が行われている。	長野県では高冷地の気候を利用したレタスなどの高原野菜の抑制栽培が盛んです。また、静岡県では牧ノ原などの水はけのよい台地を利用して茶の栽培が行われています。